ELR2012（緑化工学会・景観生態学会・応用生態工学会 3学会合同大会）・

日本景観生態学会 第22回大会　のご案内

　応用生態工学会(E-＆-CE)，日本景観生態学会(L)，日本緑化工学会(R)はいずれも「健全な生態系の持続・修復を視野に入れた国土のプランニン グ」を，学界・行政・市民の連携のもとに進めようとする応用系学会です。この3学会はこれまで，互いに得意とする異なった場で研究を行ってきましたが，「森・川・海」といわれるように地球上のすべての生態系はつながっており，つながりの中でしか有効な目標設定と課題達成が行えないことは明白です。各学会で学会間連携の動きがおこり，連携実現の第1歩として，2008年，第1回の3学会合同大会「ELR2008福岡」を開催いたしました。
　そして今年，「災害と自然再生」をメインテーマとして第2回の「ELR2012東京」を開催します。

#### ◆ 大会概要

 (1)日程　　2012年9月8日(土)～10日(月)　※エクスカーションの一部は11日まで

9月8日(土)午前　　理事会，委員会等，研究集会，資材工法展示

9月8日(土)午後　　研究発表(口頭，ポスター)，研究集会

9月9日(日)　　 　研究発表(口頭，ポスター)，資材工法展示，

　　　　　　　　 各学会総会，合同シンポジウム，懇親会

9月10日(月)午前　研究発表(口頭)もしくは研究集会

9月10日(月)午後　エクスカーション

 (現地見学会・一部の見学コースは11日(火)までを予定)

 　※　エクスカーションについては後日ご案内いたします

 (2)会場　　東京農業大学 世田谷キャンパス (東京都世田谷区桜丘1-1-1)

　　　アクセス参照URL　http://www.nodai.ac.jp/access/map\_s.html

**◆ 参加・発表の申込み**

　すべての申込みは，『参加・発表申込書』により，7月10日(火)までに参加費用をお振り込みのうえ，電子メールまたはFAXで実行委員会あてにお申込み下さい。
**参加申込書1枚につき、一件ごとにお振り込みください。**今回は合同大会につき、3学会の会員をすべて同じ申込先（実行委員会）で受け付けますので、会員名簿での照合ができません。お振り込みの照合確認ができない場合、再度請求することもあり得ます。

[ELR2012東京　参加・発表申込書（3学会共通フォーム）](http://www.jsrt.jp/taikai/2012/ELR_2012_0517apply.doc)

申込先: E-mail: **elr2012(at)jsrt.jp** ※(at)を@に直して下さい

 　　　Fax: 03-3818-8282(日本緑化工学会事務局)

　ELR2012東京実行委員会

 　担当：中村華子、橘　隆一

**参加申込みと参加費用**

　大会参加費は基本的に前納のみとし，正会員・賛助会員5,000円(当日参加6,000円)，一般(非会員)10,000円，学生(非会員含む)2,000円です。
費用には資料代(発表要旨集)が含まれます。懇親会参加費は，会員・一般(非会員)5,000円，学生(非会員含む)3,000円です。
なお、見学会の参加費については別途頂きます。
日本緑化工学会員以外の方で，日本緑化工学会誌38巻1号(大会特集号)が必要な場合は，会場で別途購入(2,000円/1冊)になります。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **種別** | **納付方法** | **正会員・団体会員** | **学生会員** | **一般（非会員）** |
| 大会参加費 | 前納 | 5,000円 | 2,000円 | 10,000円 |
|  | 当日 | 6,000円 | 2,000円 | 10,000円 |
| 懇親会 | 前納 | 5,000円 | 3,000円 | 5,000円 |
|  | 当日 | 5,000円 | 3,000円 | 5,000円 |

　　　　\*　団体会員に所属する方は、申込みの際に団体名をお書き添えください。

###### 参加費のお支払い

　00110－4－750454 　ELR2012東京実行委員会

　※　必ず申込書1枚につき一件ごとにお振り込みください。

　銀行からの振り込みの場合

■銀行名　　ゆうちょ銀行 〇一九 店（ゼロイチキユウ店）

■金融機関コード　９９００

■店番　０１９

■預金種目　当座

■口座番号　０７５０４５４

　　　※　なお、一旦納入された参加費・懇親会費は、返金できませんのでご注意ください。

##### 発表申込み方法

　別紙の『参加・発表申込書』を提出して下さい。 発表申込みの締め切りは7月10日(火)です。 発表申込み後，要旨原稿を7月20日(金)までに提出していただきます。原稿様式，提出方法は後日連絡いたします。A4用紙で1ページを予定しています。
　当日のプログラムは，所属学会にかかわらず，3学会すべての発表から内容によって振り分けたプログラムを作成します。発表に校閲はなく，参加・発表申込みと要旨の提出により発表ができます。発表形式には口頭とポスターがあり選択できます。ポスター発表にはポスター賞が設けられる 予定です。
　　※ 要旨提出者は，大会での発表が義務づけられます。
　　※ 発表件数によっては，口頭，ポスターの選択希望に添えない場合もあります。

**◆ 研究集会開催の募集**

　合同大会では，研究集会の開催を募集します。下記内容を記載した研究集会開催企画をE-mailまたは郵送で大会運営委員会まで提出して下さい。開催日時については，大会運営委員会が調整するため，ご希望に添えない場合もあります。当日の運営は，代表者に委ねられます。
　※ 研究集会の開催可能日時は，9月8日(土) 9:00～12:00および18:00～20:00，9月10日(月)午前中になる予定です。

 記載内容

1）集会テーマ（タイトル）

2）参加予定人数

3）希望開催日時

4）代表者（氏名・所属）

5）代表者連絡先（住所・電話番号・FAX番号・E-mailアドレス）

 　　 申込み締切　　2012年7月10日(火)

####

#### ◆ ポスター賞

　ELR2012東京では，優れたポスター発表を選定し，その発表者にポスター賞を授与します。審査は3学会から選出された審査員が行います。詳細が決まりまたら発表者へご案内致します。

### ◆ 合同シンポジウム　「災害と自然再生」

日　時：2012年9月9日(日) 14:00～17:45

会　場：東京農業大学世田谷キャンパス 農大100周年記念講堂

災害復興と自然再生は対立するのか，両立するのか？ かつての「経済か環境か」を彷彿とさせる問題が2011年の東日本大震災などの大災害を契機に我々に突き付けられています。防災施設や住宅地の整 備は地域復興のために切実な課題ですが，ハード一辺倒の整備は大規模な地形改変やエコトーン分断を通して生物多様性を損なう恐れがあります。一方，災害の 危険性が高い場所からの集約的土地利用の撤退や事前回避は，長期的に見ると防災のための緩衝帯と自然再生の用地を兼ねた土地を生みだす可能性があります。 本シンポジウムでは，以上のような問題意識のもと，防災・減災と自然再生の関係を災害現場の状況を踏まえながら(熱く)議論したいと思います。

　　※　内容詳細が決まりましたらホームページなどでご案内いたします。